

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習 I		
担当者(Instructors)	田村 豊	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

卒業研究の完成を念頭において、演習での討論を基礎におきながら、それぞれの参加者の意見を組み込みながら、各参加者にとってもっとも有益な課題を設定し、具体化するための訓練を行う。各参加者の参加意欲を論文その他の形で具体化し、自己成長を遂げることを目的とする。大学院などへの進学も含め進路指導も含めて演習活動とする。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス ねらいと概要	卒業研究についての完成までの流れを確認します。	<input type="checkbox"/>
第2回	課題の検討状況の確認(1)	各参加者の検討状況とキーワードを確認します(1)	<input type="checkbox"/>
第3回	課題の検討状況の確認(2)	各参加者の検討状況とキーワードを確認します(2)	<input type="checkbox"/>
第4回	必要な論点や議論の仕方の検討(1)	検討すべきテーマを整理します(1)	<input type="checkbox"/>
第5回	必要な論点や議論の仕方の検討(2)	検討すべきテーマを整理します(2)	<input type="checkbox"/>
第6回	必要な論点や議論の仕方の検討(3)	検討すべきテーマを整理します(3)	<input type="checkbox"/>
第7回	必要な論点や議論の仕方の検討(4)	検討すべきテーマを整理します(4)	<input type="checkbox"/>
第8回	論点整理(1)	検討すべき論点を絞り込みます(1)	<input type="checkbox"/>
第9回	論点整理(2)	検討すべき論点を絞り込みます(2)	<input type="checkbox"/>
第10回	論点整理(3)	検討すべき論点を絞り込みます(3)	<input type="checkbox"/>
第11回	論点整理(4)	検討すべき論点を絞り込みます(4)	<input type="checkbox"/>
第12回	全体の見通し(1)	論文の目次を作成する(1)	<input type="checkbox"/>
第13回	全体の見通し(2)	論文の目次を作成する(2)	<input type="checkbox"/>
第14回	全体の見通し(3)	論文の目次を作成する(3)	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	残された課題の整理	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

それぞれの研究課題について必要な資料や考え方を日常的に自覚して収集すること。演習で指摘された事柄を踏まえて論点の掘り下げを行うこと(演習の前後合わせ4時間程度の予習と復習を行うこと)。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

それぞれの参加者との討論を通じて問題点を把握しアドバイスを行う。

## ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
--------------	-------------------	-----------------

思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	【思考力・判断力・表現力】経営を取り巻く環境変化に関心を持ち、その変化がビジネスや社会全体に与える影響を幅広く思考し、多面的な判断の上、中長期的な課題を考えることができる。また、さまざまな個性や、利点及び問題点を抱えている地域社会において、多様な人々と協働し、自己の意思・意欲・計画を他者にわかりやすく説明できる。
主体性	◇ 2021地域ビジネスDP3	【主体性】さまざまな個性・利点・問題点を抱えた地域におけるビジネスを通じ、多様な人びとと協働し、地域とつながり地域社会の活性化・発展に貢献できる。卒業研究完成を目指し、演習での討論を基礎におきながら、検討を進めることができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	
<b>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</b> 授業での評価と合わせ授業内試験を行う。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		